

DXはご利用者様一人ひとりに対する「ひと手間」を創造する手段

私たちは「関わるすべての人に“ひと手間”を」という理念のもと、地域に根ざした介護を実践してまいりました。ご利用者様お一人おひとりの人生に寄り添い、ご家族が安心して大切な方を託せる環境を整えること、それが私たちの原点であり、変わることのない使命です。

2021年に「メディケア癒やし京町台」を開設して以来、私たちは時代の変化に応じたケアの在り方を追求してきました。そして2025年、「メディケア癒やしDX」として新たな一步を踏み出しました。これからの介護は、人のぬくもりとテクノロジーが支え合う時代です。私たちはテクノロジーを単なる効率化の手段と捉えるのではなく、「人に向き合う時間」を創出するための経営戦略として位置づけています。

当グループでは、見守り支援システムの導入、スマートフォンによるリアルタイム記録、業務の可視化・数値化など、現場の声に基づくDXを推進しています。さらにAIを活用し、蓄積されたデータを分析・検証することで、ケアの質向上と業務改善を同時に実現するAX（DX×AI）へと進化させています。

DXによって生まれた時間は、ご利用者様との対話、その方らしい暮らしを支える“ひと手間”へと還元されます。デジタルは目的ではなく手段であり、その先にある「人の温もり」こそが、私たちの目指す価値です。

また、当法人ではDXを経営戦略の中核に据え、KPIに基づく評価とデータ分析を通じて、その成果を可視化・検証し、継続的な改善サイクルを確立しています。DXの推進は一過性の取り組みではなく、持続的な企業価値向上を目指す長期的な経営方針です。

加えて、個人情報保護および情報セキュリティ体制の強化を重要課題と位置づけ、安全性と信頼性を担保した運用を徹底しています。テクノロジーの活用は、信頼の上に成り立つものでなければなりません。

私たちのDXは決して派手なものではありません。しかし、現場で積み重ねられる日々の改善と小さな工夫が、やがて大きな安心と信頼へとつながると信じています。

これからもご利用者様・ご家族・職員・地域社会をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様とともに、“ひと手間”が生み出す価値を育て、人のぬくもりと先進技術が調和する「新しい福祉のかたち」を築いてまいります。

株式会社SENSTYLE／株式会社SandK

代表取締役 国中 優治

2025年6月10日